

第九回明朗塾研究研修会

日時 平成17年2月5日(土) 9:30～16:00

会場 社会就労センター-明朗塾(知的障害者授産施設)

報告1 9:30～11:00

授産事業に求められる経営感覚

商人の誇りを身につけるには

授産施設で生産されるモノ・サービスは市場(地域)に販売されることで利益を生み障害者の自立に直接つながる。「販売」に必要な感覚が「福祉」の名の下に鈍らされてはいないが、商人としての態度や考え方をもたなければ商売の成功はおぼつかない。授産施設に不足しがちな経営感覚とは何かを報告する。

講師 **内藤 晃** (明朗塾 施設長)

報告2 11:00～12:00 明朗塾職員による研究レポートの報告

障害者の生活設計を目に見える形にするサービスの追求

新サービス・「ファイナンシャルプランニング」

白井真理子 (明朗塾 事務部長)

新サービス企画開発の手法 PDCAを回す

小澤啓洋 (明朗塾 システム管理部長 JRCA品質マネジメントシステム審査員(補) 登録申請中)

【昼食・休憩】

講座 13:00～16:00

読まれる紙面作りのコツ

広報紙作りの基本ルールはこれだ

情報開示は事業者の説明責任(アカウンタビリティ)の根幹をなすものであるから「見たい人は見て下さい」という姿勢だけでは不十分である。積極的に「見せる」「読ませる」姿勢が必要である。しかしそのためには紙面作りの基本ルールを知らなければならない。作り手の努力の空回りを排し、効果的なレイアウト・見出し・写真選択を、ご自身もコピーライターとして第一線で活躍する講師が広報紙コンクール審査委員長を務められたときの実例を交えながら熱く語る。誰もが喜ぶ広報紙への近道が見えてくる。

講師 **金子吉延氏** (コピーライター)

参加費 **1500円** (昼食代含む・当日お支払いください)

平成17年 2月 1日までに電話・FAXにてお申し込みください。

【会場には駐車場あります】

申込先……

八街市八街に20番地(〒289-1103)明朗塾

電話 043-442-0101 fax 440-2020

<http://www.meiroh.com>

